

ふらつとコラム

宮尾修のふらつとコラム

その二 広域専門指導員

▽いまごろになると、ふと思い出すのが「六月」という茨木のり子さんの詩です。どこかに美しい人と人との力はないか同じ時代をともに生きる／したしさとおかしさとそうして怒りが／鋭い力となつて／たちあらわれる

▽六月のつぎは七月。相談員の前田満子さんが県の広域専門指導員になり、障害者差別解消のための仕事をされることになりました。JR船橋駅前のフェイス・ビル七階にオフィスを持ち、週四日間勤務することになります。

これに伴い前田さんの「ふらつと」勤務が週五日から二日に変わります。前田さんは昨年十月の開設以来、日夜たくさんの相談にあたられています。そういう方に大事な仕事が入ってくるのは自然ですが、「ふらつと」はその影響でさらに多忙になりそうです。

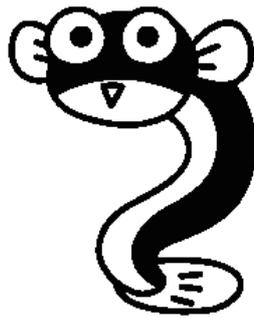
▽県議会で昨年成立の「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」。この条例を実施するため、全県を十六の地域に分け、そこに一人ずつ置かれるのが広域専門指導員です。

前田さんは船橋担当ですが、県によるとさらにこの指導員の下に、三障害その他複数の地域相談員を配置し、その皆さ

んからの事例を集める。そしてそこに差別といえるものがないか弁別する。あったときには差別をなくすよう話し合いをし、解決しなかった時は県にあげて判別をもとめる。こうした一連の作業をするのが指導員の仕事です。

▽新年度が始まって二ヶ月。何人もの方が日々見え、電話も鳴り通しです。目の前だけ考えると、前田さんの勤務が減るのは痛手です。

でも大きく見ると指導員の仕事と「ふらつと」の活動は同じもの。ともに障害福祉のためです。しかもこれからも前田さんは「ふらつと」の一員です。人と人で「鋭い力」をつくりたいと思います



ちよこつとふらつと

小出利枝

ふらつと船橋はどんな場所？今日は、ちよつと覗いてみることにしましょう。この事務所はすごい！自動ドアです。車椅子も入れられるような、ふらつとな場所（トイレも車椅子用があるんだって）まづドアが開くと真ん中に大きな会議机と椅子、そしてテーブルの上にはお茶菓子

が少し？（おひとつ如何ですか？）ご予約をして来所される方、ふらつと顔を出される方、いつでも誰でもどうぞ。職員がゆっくりお話を聞いてくれます。

相談に来た皆様がなるべくお話をしやすいように、机が壁に向かって配置されています。その他にも小さな個室があります。

次号をお楽しみにね

ピアカウンセリング集中講座開催のご案内

当相談協議会は、船橋障害者自立生活センターに依頼して、ピアカウンセリングの集中講座を開催します。

- 日時 8月4日(土)12時30分～受付、13時開始、20時終了
8月5日(日)10時30分開始、夕食会をはさんで20時終了
8月6日(月)10時開始、12時終了
- 会場 船橋中央公民館 体育レクリエーション室
- 定員 8名
- 対象 船橋市内在住の障害のある方で自立に希望や関心のある方
- 参加費 無料(交流会費等の実費は別)
- 申込先 船橋障害者自立生活センター
- 電話:047-432-4554
- ファクス:047-432-4565
- メール: cil-funabashi@cil-funabashi.org
- 申込締切 2007年7月20日(金)定員になり次第、締め切ります。